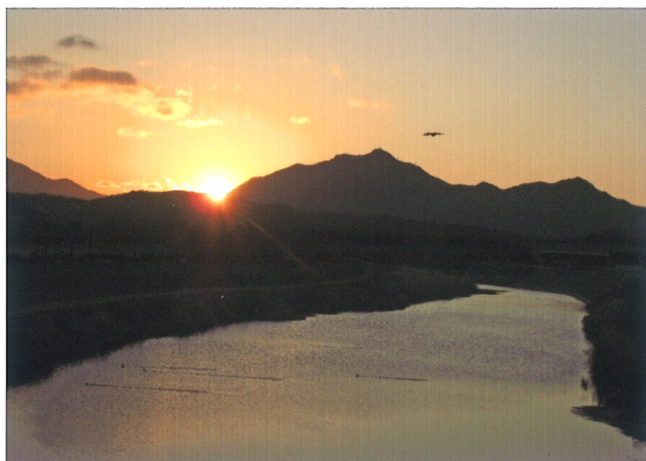




上空から見た玖珂盆地(衛星写真)



玖珂盆地の夜明け(島田川右岸より)

ふるさと玖珂町の 自然と歴史を訪ねて

- ◆ 玖珂町の概要
- ◆ 玖珂4山の紹介&ハイキングマップ
- ◆ 玖珂総合公園・桜づつみ公園の紹介
- ◆ 玖珂町の史跡・神社・施設等の紹介
- ◆ 玖珂町周辺の山々紹介



田園地帯から望む蓮華山(右)と鞍掛山(左)



塔ヶ森を目指すハイカー

玖珂町の概要

岩国市玖珂町は、山口県の東部、玖珂盆地の一角にある。玖珂郡玖珂町として大正13年からの81年間、町制を敷いていたが、岩国地域8市町村による広域合併により、平成18年3月に岩国市玖珂町となった。面積は 23.2km² で、東西に約 7.4km、南北に 5.9km の、ほぼ菱形の地形をなしている。

玖珂盆地は、周囲をぐるりと山並みに囲まれており、最高峰の物見ヶ岳(709m)を盟主に10数座が連なっている。このうち、玖珂地域に位置する山は、蓮華山(576m)、塔ヶ森(524m)、甘木山(406m)、鞍掛山(240m)の4座である。

川は、笹見川、水無川、柳井田川が島田川に合流して、周南市の東部を貫流しながら光市内を経て瀬戸内海に注いでいる。蓮華山系を源流とする水無川の流域は扇状地で、水は川底を伏流水となって流れており、その名の如く表流水はほとんどない。

気象は、瀬戸内海式気候に属しているが、海岸線から直線でおおよそ15~20km 離れ、海拔50~70m の山間地で、盆地特有の夏暑く冬寒い傾向にある。

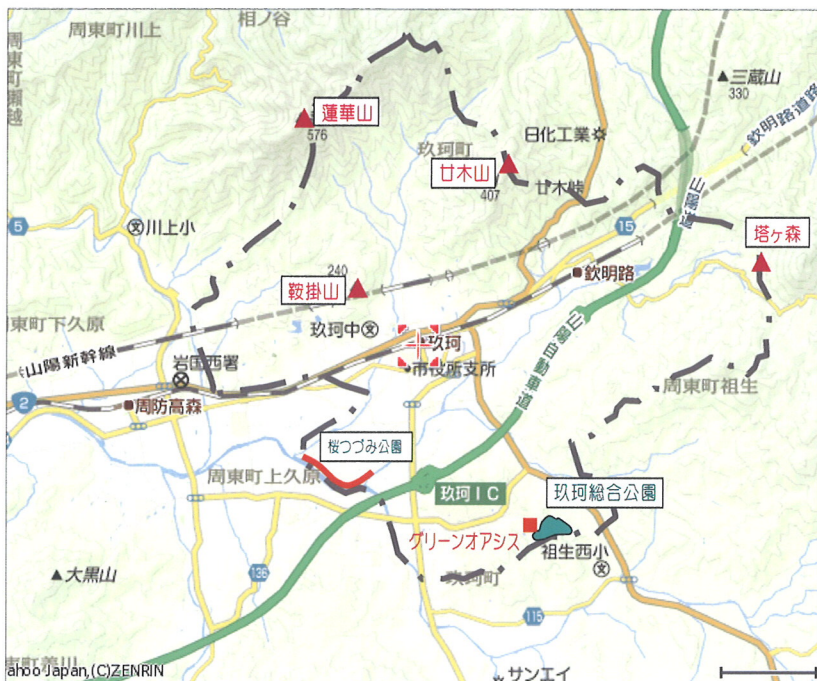
玖珂町の歴史は古く、縄文時代には既に原始人が住み始めており、弥生~古墳時代の集落の存在を示す住居跡・古墳などの遺跡や土器・石器類の遺物も多数発掘保存されている。

また、玖珂町の中心部を東西に横切る旧山陽道

は、古代から近世にかけて都と九州を結ぶ陸路の幹線として栄えた。飛鳥時代には欽明天皇の大宰府ご行幸、戦国時代には毛利元就の鞍掛城攻めや豊臣秀吉の九州征伐、江戸時代には参勤交代に伴う大名行列がこの山陽道を往来した。町内には往時を偲ぶ史跡が随所に残されている。

現在も、交通の要路としての重要性は変わっていない。国道2号線の開通(大正14年)を初め、岩徳線(昭和9年)、欽明路道路(昭和47年)、山陽新幹線(昭和50年)、山陽自動車道(平成4年)と5本の大動脈が東西に走っている。その内、国道2号線を除く4本は欽明路峠付近の地下をトンネルで貫通しており、さながらトンネル銀座になっている。また玖珂町と柳井市大島町を結ぶ国道437号線も、平成13年に全面拡幅整備された。

このように玖珂町は、交通の利便性と岩国・柳井・徳山のほぼ中間に位置している等、環境に恵まれ、自然豊かで歴史と文化の漂う素敵なまちである。



鞍掛山頂から眺めた玖珂町

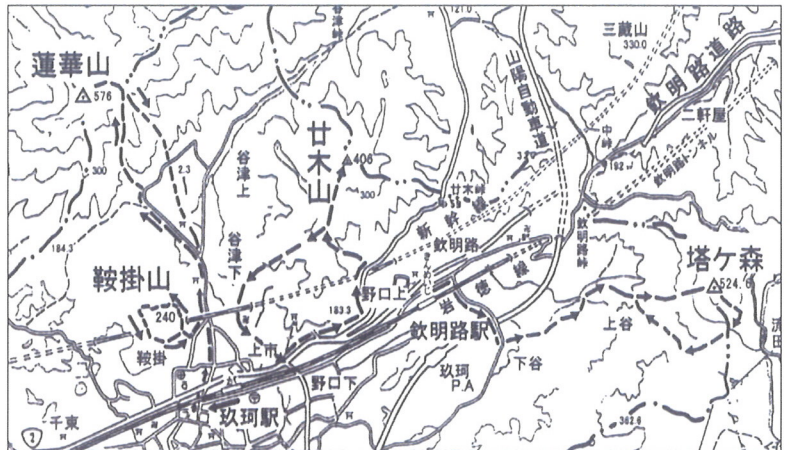


空から眺めた玖珂町(航空写真)

玖珂町の山

人は誰もが、心に「ふるさとの山」を持っている。その地に生まれ育った人は勿論のこと、その地に移り住んだ人にとっても、日々の生活との関わりが深く、何時でも眺め、何時でも登ることのできる山は、「ふるさとの山」といえるであろう。

玖珂町にも、そのような山がある。蓮華山、鞍掛山、塔ヶ森、甘木山の4山で、何れも「眺めてよし、山頂や稜線からの眺望もよし」の素敵な山である。以下に、これらの山の概要とハイキングコースを紹介しよう。



蓮華山(576m)

玖珂町を代表する山で、山口県百名山の一つに数えられている。玖珂盆地の北面に高く聳え、東に向かって長く稜線を伸ばしており、盆地のどこからでも眺めることができる。

昔から信仰との結びつきが深く、山麓には比叡神社、中腹には市の迫滝の観音がある。山頂には多老坊神社跡があり、木の鳥居とトタン張りの社殿らしきものが残っていたが、平成13年の台風19号で倒壊した。戦国時代には、毛利元就軍梶杜隆康氏の山城があった。

鞍掛山(240m)

蓮華山から玖珂盆地に向かってせり出している小山で、国道2号線のすぐ北側に見える。戦国時代の哀史に満ちた山で、毛利軍に敗れた陶軍鞍掛城主の杉隆泰は、一族郎党 1,370 名と共に谷津原にて討死した。この戦国哀話は今の世に語り継がれ、毎年11月には「鞍掛城まつり」が行われている。登山道はよく整備され、山頂には展望台があり、眺めも良いことから健康ハイキングの場として多くの人に利用されている。

塔ヶ森(524m)

玖珂盆地の東方に聳える山で、朝日の昇る山として昔から町民に親しまれてきた。北側稜線上には旧山陽道の欽明路峠がある。

平成8年に山頂一帯13ha が「塔ヶ森展望公園」として開発され、桜、もみじ、もみの木等が植樹されている。山頂近くまで車で上がれるようになったので、誰でも気軽に山頂に立つことができる。

登山道も地元のボランティアの手でよく整備され、山頂には展望台があり、玖珂盆地や岩国沖の島々が見渡せる。

甘木山(406m)

蓮華山と塔ヶ森の間に位置する山で、国道2号線沿いの食事処「山賊」の裏山にあたる。前記3山に比べて知名度が低く、登る人もほとんどなかったが、西側山麓に林道がつき、山道も地元のボランティアの手で整備されてからは登山者が増えた。ゆるやかな尾根道から眺める玖珂盆地のパノラマ風景は絶景である。



島田川左岸から望む玖珂4山

蓮華山 (576m)



蓮華山の麓にある、比叡神社(山王社)下から、市の迫滝を經由して登り、正面登山口の室が迫に下りるコースを紹介する。

マイカー利用の場合、比叡神社下の樹齢数百年と言われる大杉の左路肩に数台おける駐車スペースがある。交通の邪魔にならないように駐車しよう。

蓮華山を前方に仰ぎながら細い車道を進むと、左手の民家の向こうに、手入れの行き届いた丘が見える。近くの森本氏が長年、丹精込めて育てられた石楠花の咲く丘で、4月下旬から5月上旬の連休頃になると、見事な花を咲かせる。

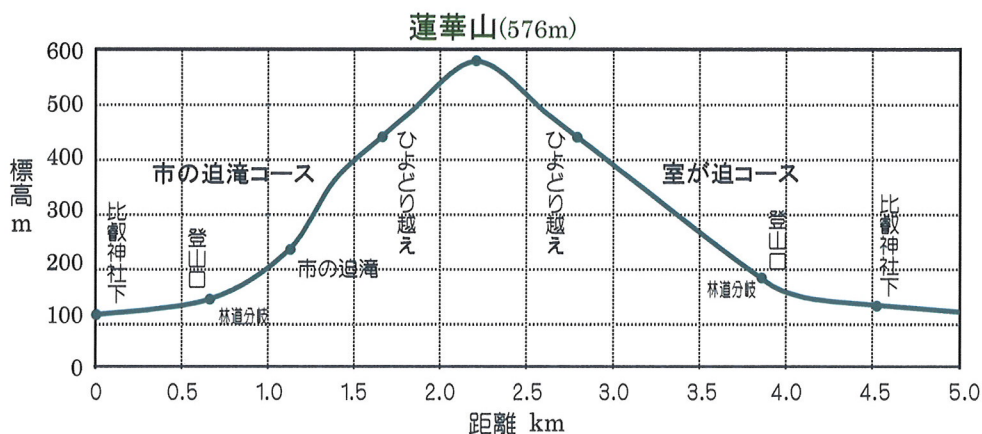
民家が途絶え杉林の中に入ると、まもなく登山口がある。左折して、緩やかな勾配の続く杉林の中を直進する。杉林から雑木林に変わると、前方に市の迫滝が見えてくる。傍に観音堂がある。ここから先は急勾配のジグザグ道が待っている。汗をかき、あえぎながら、ようやく尾根筋に出る。ここは、通り抜ける風がさわやかで、疲れた身体に心地よい。左前方に仰ぐ蓮華山を眺めながら一休みするのもよい。

ここから、しばらくは尾根道を歩く。何回か左右に折り返すと分岐標識がある。右に行くと、7合目付近で室が迫コースと合流し、ひよどり越え経由で頂上に向かう。左の道は最近整備されたコースで、尾根道を辿って9合目付近で室が迫コースと合流する。急坂で岩場もあるが、展望が良く近道なので、最近利用者が増えている。

山頂からは、眼下に広がる玖珂盆地が絶景である。盆地を取りまく山並みの向こうに、光市や下松市方面の海も望める。北面は樹木にさえぎられて、残念ながら視界がきかない。

下山は、ひよどり越え経由で、室が迫コースを下る。登りのコースほど急坂ではないが、谷間を下るので、途中足場の悪い所もある。足元に注意して下ろう。道に迷いそうな所はない。

林道に出ると、そのまま横切り直進する。栗畑や田んぼの中の道を通り、何軒かの民家を過ぎると比叡神社前に抜ける分岐があるので右折し、神社下の駐車場へ戻る。途中、右側の土手に石楠花の苗が植えられている。成長が楽しみだ。



蓮華山中腹から玖珂盆地を望む(中央の小山は鞍掛山)



コースタイム

登り 80 分 比叡神社下(10分)登山口(15分)市の迫滝観音(40分)ひよどり越え(15分)山頂

下り 65 分 山頂(10分)ひよどり越え(40分) 林道(15分) 比叡神社下

アクセス

岩徳線玖珂駅から比叡神社下まで 徒歩30分、マイカー5分



鞍掛合戦ゆかりの山 鞍掛山(左)と蓮華山(右)



桜づつみ公園から望む、田園風景と背後に迫る山並み

鞍掛山 (240m)



玖珂グラウンド東駐車場から北へ向かい、突き当りを右折すると、直ぐに「鞍掛山登山道」の標識があるので、それに従って左折する。しばらくすると、「鞍掛山登山口」の案内板を見る。

山道には、要所に山頂までの距離を記した標識が取り付けられている。曲がりくねったコースではあるが、道はよく整備され歩きやすい。この道は、「鞍掛合戦」のあった戦国時代には、「大手道」と呼ばれていた。急坂を登りきると、「古戦場 鞍懸城址」と書かれた石柱の立つ尾根に着く。ここからは、ゆるやかな尾根道で、山頂も近い。

山頂には展望台があり、望遠鏡が設置されている。南面眼下に玖珂盆地が広がり、盆地を取り囲むように東から西に向かって塔ヶ森、高照寺山、氷室岳、西光寺山、竜ヶ岳、烏帽子岳等が連なっている。その向こうに銭壺山、琴石山、虎ヶ岳、更に遥か周防大島や室津半島の山も見渡すことができる。

背後には、鞍掛合戦の敵将、梶杜隆康の山城があった蓮華山が、威圧するように迫っている。

下山は西の尾根を伝い、林間広場へ下る。戦国時代には、「弱め手道」と呼ばれていたコースである。丸太の階段の急坂が続くので、足元に注意しよう。山道沿いにはツツジが植えられ、途中展望地もある。

林間広場にはトイレがあり、数台おける駐車スペースもある。

ここからは、舗装された車道を下る。道沿いに植えられた桜の木も大分成長したが、周りの雑木に遮られて窮屈そうだ。右手に荒れた棚田を眺めながら、阿山地区の住宅が見える辺りまで下ると、灌漑用水用の「明神池」がある。運がよければ、水面に浮かぶカモやオシドリ姿に出会える。

老人ホーム「久楽荘」の前を過ぎ、玖珂中学校のグラウンドを左に見ながら、玖珂グラウンドへと戻る。



林間広場



鞍掛山の登山道には丸太の階段が多い。



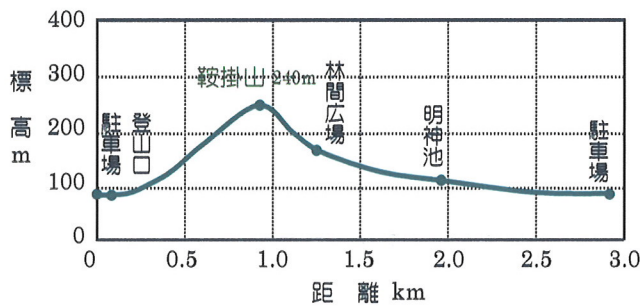
山頂展望台



玖珂中学校から鞍掛山を望む



鞍掛山頂の展望台から眺めた、玖珂盆地のパノラマ風景



登山道沿いの雑木林には、ユウキの会が野鳥の巣箱を設置し、定期的に観察を続けている。



コースタイム

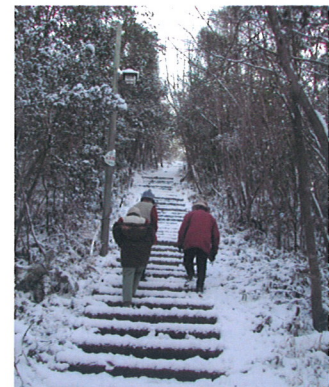
登り 30 分 玖珂グラウンド東駐車場(5 分)登山口(25 分)山頂

下り 30 分 山頂(10 分)林間広場(20 分) 玖珂グラウンド東駐車場

アクセス

岩徳線玖珂駅から登山口まで 徒歩 20 分

マイカー利用の場合は、玖珂グラウンド駐車場利用



玖珂盆地には、年に何回か積雪がある。雪の朝、鞍掛山頂を目指し、丸太の階段を登るハイカー



鞍掛合戦を偲ぶ千人塚

鞍掛合戦の主戦場であった谷津地区には、南北3ヶ所の千人塚に、「鞍掛戦死者之碑」が建っている。一番南の碑には、杉氏家老の宇野氏末裔とされる宇野千代直筆の追悼碑もある。

ここから、毛利方の山城があった蓮華山と、陶方の山城があった鞍掛山が一望できる。時間があればぜひ立ち寄り、往時を偲ぶことをお勧めしたい。

塔ヶ森 (524m)



玖珂から車で塔ヶ森に向かうには、欽明路駅を少し過ぎた所にある東部コミュニティーセンター前で右折する。ここからは要所に、「塔ヶ森展望公園」の案内標識があるので、これに従う。

塔ヶ森の麓にある上谷地区には、周東町祖生から欽明路峠に抜ける新設道路が走っており、路肩に十分な駐車スペースがあるので、ここに駐車しよう。

登山口は、塔ヶ森を前方に眺めながら進み、尾根に突き当たった所で右に回りこみ、細くなった車道を少し登った左側にある。

案内標識に従って登り始めるとヒノキ林に入る。すぐに右折と左折を繰り返し尾根道にとりつく。暫くはゆるやかな尾根道が続くが、次第に勾配が増す。雑木林の中を、落葉を踏みしめながら歩くこと30分で巨岩を背にした「岩本山正観音堂」に着く。ここからは玖珂盆地が一望でき、休憩するには格好の場所である。

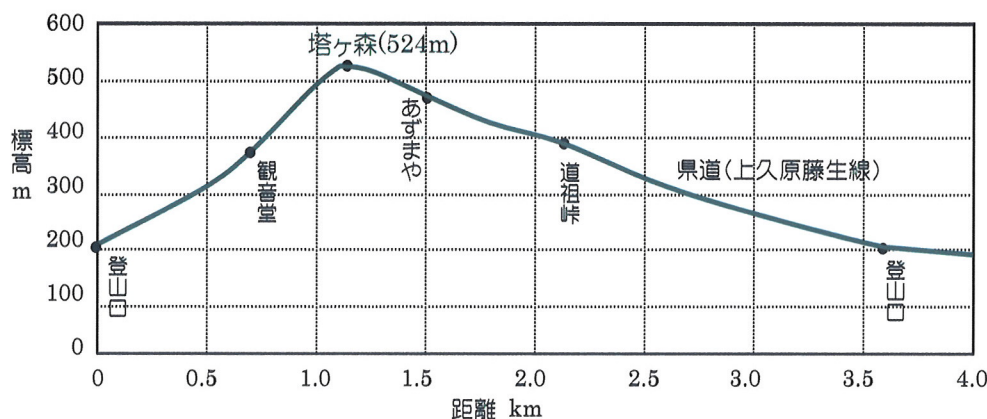
観音堂から山頂までは、急勾配で道もジグザグを

繰り返す。喘ぎながら登っていると突然視界が開け稜線に出る。左を見ると、目の前に山頂の展望台が見える。

展望台には望遠鏡や展望絵図が設置されている。ここからの眺めは素晴らしい。西面眼下には玖珂盆地が広がり、盆地をとりまく蓮華山、物見ヶ岳、烏帽子岳、竜ヶ岳等が見渡せる。南面には高照寺山が迫り、氷室岳や琴石山が見える。視線を東面に移すと、大応山や米山等の背後に海が見え、その向うに阿多田島、能美島、宮島等が浮かぶ。

帰路は展望公園の遊歩道を下る。東屋からは管理用の車道を少し進み、再び遊歩道に入る。サクラの森～竹林を経由して道祖峠に出る。ここからは曲がりくねった県道を下る。登山口を過ぎて駐車地に戻る。

尚、道祖峠から少し岩国側へ下った所には、トイレのある休憩所や駐車場があり、更に管理用の車道を利用すれば山頂近くまで車で上がれるので、体力に合わせたコースが選択できる。



山頂見晴らし台から望む玖珂盆地



コースタイム

登り 60 分 上谷駐車地(10 分)登山口(30 分)観音堂(20 分)山頂
下り 50 分 山頂(20 分)道祖峠(30 分)上谷駐車地

アクセス

岩徳線欽明路駅から上谷駐車地まで 徒歩 30 分、マイカー 5 分

遊歩道は、玖珂ユウキの会で
定期的に草刈りを行っている。



上谷地区から望む塔ヶ森（この辺りの路肩に駐車可能）

希少品種の山野草、
ササユリの花



塔ヶ森展望公園
四季の彩り



初春のアセビ



初夏のアジサイ



晩秋の紅葉



厳冬の積雪



山頂展望台から、岩国方面の山並みと瀬戸内海を見渡せる

甘木山 (406m)



国道2号線沿いにある食事処、「山賊」の裏手から登り、谷津林道に下るコースを紹介する。

駐車地は、山賊から少し岩国方面に進んだ左側にあるが、平日で空いていれば山賊の駐車場に置かせて頂けるだろう。「かまど」と「いろり山賊」の間の坂道を上り、山賊事務所の裏側に回り込んだ所に登山口がある。

いきなり、ヒノキ林の中の急坂を登る。ジグザグ道を通り過ぎると、送電鉄塔の右に出る。右手前方に甘木山を望みながら急坂を登りきり、少し下ると分岐するので右折する。ここからは、山頂へと続く尾根道を辿る。落葉を踏みしめ、樹間から覗く山並みを眺めながら進むと、突然視界が開け高台に出る。

ここからの展望は素晴らしい。南面眼下に広がる玖珂盆地を中心に、南東の塔ヶ森から北西の蓮華山まで、大パノラマ風景が満喫できる。視界の広がりから言えば、玖珂4山の中でも、ここが最高であろう。

ここから山頂までは、少し平坦地を進んだ後、一旦下ってから登り返す。雑木林の中で展望はきかない。

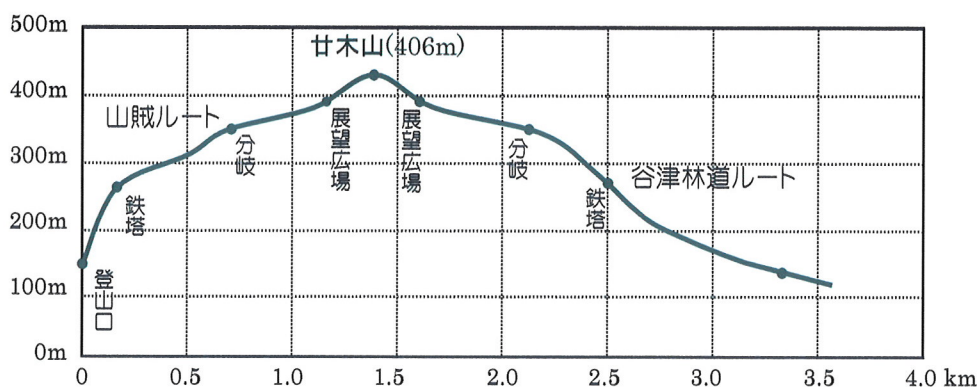
山頂は狭い台地になっているが、残念ながら雑木に囲まれ、ここも一方向しか展望はきかない。

下山は、山賊と谷津林道との分岐点までは往路を引き返し、その後、谷津林道へと下る。このコースは、左前方に玖珂盆地や背後の山並みを眺めながらの散策が楽しめる。

谷津林道沿いには、桜の苗木が植えられ数年が経つ。玖珂盆地が一望できる高台なので、将来、桜の名所になることを期待したい。

林道を過ぎると舗装道路に出る。新幹線の高架下を抜けて南下し、国道2号に出る。その後は岩国方面に「山賊」に向けて引き返す。

<注>新幹線下から山賊まで30分以上かかる。アスファルトの道は、疲れた足にはこたえるので、どちらかのコースを往復する選択肢もある。



谷津林道から玖珂盆地を望む



林道コース



139分岐標識



甘木山山頂



登山口は食事処「山賊」の裏手にある

コースタイム

登り 50 分 山賊登山口(25 分)谷津林道分岐(25 分)山頂
下り 50 分 山頂(35 分)林道登山口(15 分) 新幹線下
新幹線下～山賊まで約 30 分

アクセス

岩徳線玖珂駅から山賊登山口まで徒歩 30 分、マイカー 5 分



鞍掛山を前方に眺めながら林道コースを下る



中腹展望地から眺めたパノラマ風景

玖珂総合公園

〒742-0343
岩国市玖珂町 3800-1
Tel 0827-81-0350

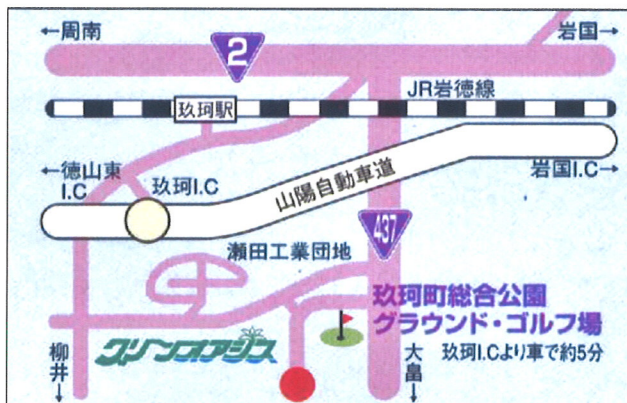
玖珂総合公園は、玖珂町南部の丘陵地帯を造成して建設された複合公園で、平成16年12月に第1期工事として「グラウンドゴルフ場」と「芝生広場」がオープンした。

その後も開発が続けられ、平成20年12月に「多目的グラウンド」と「研修棟」、平成22年6月に「人工芝グラウンド」、平成23年4月に大型遊具を備えた「こども広場」が相次いでオープンした。

平成23年10月に開催される山口国体では、人工芝グラウンドで、少年男女のホッケー競技が行われる。

また、同年12月には、公園西面の里山ゾーンに、自然観察をしながら周回できる、幅2m 全長1.3kmの散策道が完成予定で、これにより公園の全容が整う。

総合公園の隣接地には、温水プール「グリーンオアシス」もあり、この一帯はこれから、岩国市民の憩いの場、健康増進の場、生涯学習の場としての利用が大いに望まれる。



玖珂総合公園案内図

(岩国市都市計画課提供)

平成23年4月にオープンした「こども広場」は、長さ60mのローラー滑り台、ターザンロープ、アスレチックなどの大型遊具を有し、こども達に大人気で、週末には大勢の来園者で賑わう。



こども広場

(社)日本グラウンドゴルフ協会認定のコースで、全面芝生張り8ホールのコースを3面有しており、平成 23 年度には更に1コース増設される予定。

グラウンドゴルフは、子どもから高齢者まで幅広く、無理なく行えることから、家族連れや地域グループでの利用者が増えている。



グラウンドゴルフ場



展望広場から望む総合公園の全貌

里山ゾーン

現在、整備中の散策道沿いは、雑木林を間伐し、要所に休憩施設を設ける計画で、今後は、市民協働で桜、ツツジ、ドングリ等の植樹を行なう等、来園者が気軽に森林浴を体感できる里山ゾーンとして整備される予定である。



整備中の散策道

桜つつみ公園

桜つつみ公園は、玖珂盆地を東西に流れる島田川の北側堤防沿いにある。

入南橋の袂から上流に向かって約1.3km、堤防上に遊歩道が設けられている。その中ほどに、公園のシンボルである赤いリング型のモニュメントがあり、ひととき目を引く。周辺には、複合遊具、健康遊具、せせらぎの池、芝生広場などが設置され、遊歩道沿いには桜並木もあり、春には見事な花をつける。

また、この辺りは玖珂盆地の中央部に位置し、蓮華

山、塔ヶ森、高照寺山、氷室岳などの山並みも一望できる。公園や遊歩道の整備も行き届いており、田んぼに舞う白鷺や川面に浮かぶ鴨の群れを眺めながらの散策は気持ちよい。

このように、平成6年10月オープン以来17年が経過したこの公園周辺は、アクセス、環境、景観等に恵まれ、四季を通じて市民の憩いの場、朝夕のウォーキングの場としてすっかり定着し、利用者も多い。



春

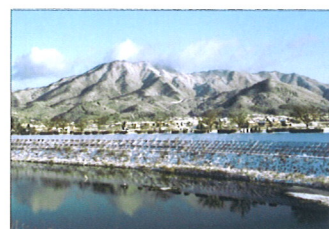


初夏

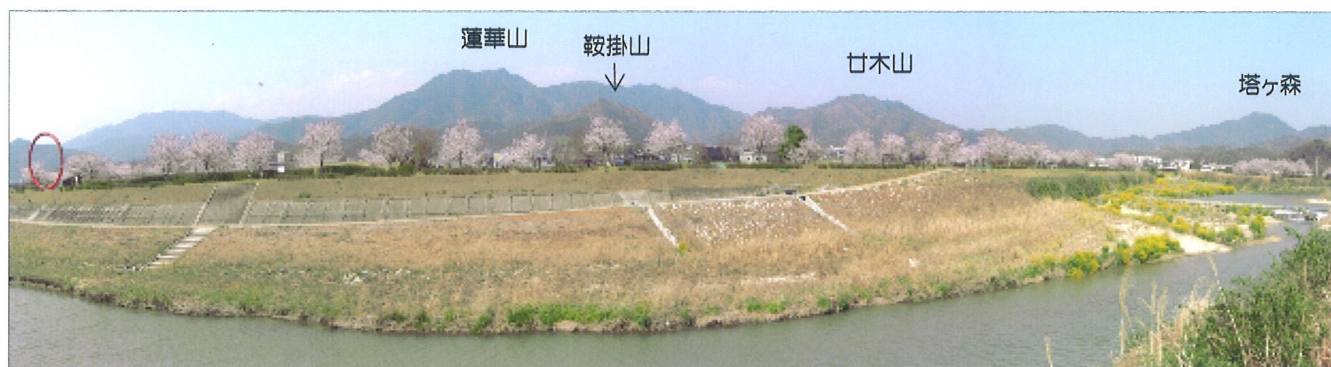
桜つつみ公園の四季



秋



冬



島田川左岸から望む、桜つつみ公園と玖珂4山



駐車場から眺めた桜並木



入南橋から眺めた見た風景



散策コースの紹介

入南橋の袂から島田川右岸沿いの歩道を上流へと向かう。左側に桜並木、右側に島田側を眺めながら歩く。約5分も歩くと公園の中心部に着く。

公園のシンボルである「赤いモニュメント」の周りは芝生広場となっており、近くに「複合遊具」、「芝生の丘」、「せせらぎの池」などがある。バリアフリーのトイレも完備しており、子どもでも、お年寄りでも、安心して憩いのひと時を過ごすことができる。

更に上流に向い、島田川の支流である笹見川沿い

に進むと、すぐに下笹見川橋に着く。ここで左折し、帰路は公園の堤防下に設けられている農道沿いに入南橋へと帰る。右手には田園地帯が広がっており、田んぼで餌を啄ばむ白鷺の姿を身近に眺めることができる。

<注> ここで紹介したのは、距離約2km、歩いて20～30分程度の短いコースである。他に島田川の左岸沿いや、田園内の農道など、変化に富んだコースもあるので、時間があれば足を延ばしてみると面白い。

玖珂町の史跡、神社、施設 等



春日の大杉

春日大明神跡に、樹齢千年、幹径7~8mの県下でも有数の杉の巨木がある。

(岩国市指定文化財)



③

峠付近は、平成 19 年に拡幅工事が完成した。



④



周防源氏武田家屋敷跡

室町時代の末期、安芸源氏武田氏から分派。大正6年まで玖珂盆地の文武両道の振興に多大の功績を残した。屋敷内に稽古屋敷跡の石碑が建っている。西側に中世から現在までの墓地がある。(岩国市指定文化財)



小幡浦次郎頌徳碑

谷津原が扇状地であることに着目し、地下ダムによる用水路を作ること計画。難工事の末、大正 14 年に完成させた。碑の文字は、山口県知事田中龍夫書である。



田坂市良右衛門碑

江戸時代末期、玖珂村民の窮乏を代官に直訴して幽閉されたが、刑を解かれた後、町方年寄り格に復帰し、刀祢職に任じられて村民の指導にあたった。

旧山陽道 欽明路峠

旧山陽道は、古代から都と九州を結ぶ要路として栄えた。江戸時代には、参勤交代の大名行列がこの道を往来した。「周防なる磐国山を越えむ日は、手向けよくせよ荒しその道」と万葉集で詠まれた磐国山は、欽明路峠を指していると伝えられている。

A



岩隈八幡宮

三毛入野命、神武天皇以下9座を祀る。和銅7年(714)九州宇佐神宮より勧請して祖生の地で熊毛神社と称していたが、元禄4年領主吉川公が現在地に移す。

B



比叡神社

805年創建。大己貴神、大山咋命を祀る。初め山王宮と称していたが、明治元年比叡神社と改称。

C



菅原神社

菅原道真を祀る。岩隈八幡宮の境内にあり、天満宮と称していたが、明治6年に改称、明治13年現在地に遷座。

6



鞍掛合戦千人塚

戦国時代、鞍掛合戦で討死した将兵を埋葬した積石塚に建てられた標柱が、南北に並ぶように3基ある。

7



金峰院

50代桓武帝の時代、弘法大師の開基といわれる。周辺に88の地蔵さんがある。

E



桜づつみ公園

島田川右岸にある。芝生広場、こども広場、遊歩道等があり、町民の憩いの場として親しまれている。(平成6年オープン)

8



臼田古墳

古墳時代の横穴式石室墳。玖珂盆地で、完全な形で残っている唯一の古墳である。

9



末川博生誕碑

元立命館大学総長、日本学士院会員、岩波六法全書の著者、玖珂町名誉町民。

F



玖珂総合公園

こども広場、グラウンドゴルフ場、多目的グラウンド、人口芝グラウンド場等がある。

G



温水プール「グリーンオアシス」
焼却炉の余熱を利用した温水プール。25mプール、幼児プール、ウォーター 슬라이ダー、浴室、フィットネスルーム等がある。
(平成7年オープン)

D



玖珂こどもの館

大ホール、パソコンルーム、会議室、こどもの遊びルーム等があり、生涯学習の拠点として利用されている。(平成7年オープン)

玖珂町周辺の山々

(玖珂町中心部より半径 20km 以内)



玖珂町の中心部より、半径 20km 以内に位置する山々を紹介します。
この範囲内に、山口県のガイドブックに載っている山が37座あります。〈注〉
玖珂4山(蓮華山、塔ヶ森、甘木山、鞍掛山)の、何れかの山頂から見える山
は半分程度ですが、その山の麓に住んでいる人にとっては、ふるさとの山
であり、玖珂盆地の人から見れば近所の山です。機会があれば一度登って
見ませんか。

〈注〉「防長山野へのいざない」(金光康資著)に取り上げられている山
山口県下の 500 山を3集にわたって紹介しており、蓮華山は第1集、
鞍掛山、塔ヶ森、甘木山は第3集で紹介されている。

山名一覧表(標高順)

(標高 m)

No	山 名	標高	No	山 名	標高	No	山 名	標高	No	山 名	標高
1	物見ヶ岳	709	11	塔ヶ森	524	21	大応山	405	31	城山	318
2	烏帽子岳	696	12	柏木山	518	21	雲霞山	405	32	大平山	316
3	高照寺山	645	13	石童山	495	23	竜ヶ岳	365	33	城山	300
4	蓮華山	576	14	三ヶ岳	487	24	札ノ尾山	365	34	荒瀬山	297
5	源九郎山	572	15	熊ヶ山	454	25	田尻山	360	35	岩国山	277
6	氷室岳	562	16	米山	447	26	石城山	360	36	二位寺山	245
7	根笠山	559	17	彌山	435	27	枅形山	345	37	鞍掛山	240
8	礫石山	545	18	大將軍山	430	28	高塔山	345			
9	銭壺山	540	19	虎ヶ岳	414	29	多賀山	330			
10	陣古屋山	530	20	廿木山	406	30	大黒山	323			

あとがき

男性シニアボランティアグループ「玖珂ユウキの会」は、平成13年7月にメンバー10名で結成された。最初に取り組んだ活動が「玖珂町散策マップ」の作成である。

以来10年、メンバーは29名に増え、活動範囲も山道の整備、環境の美化、ホテルの里作り、子供たちとのふれあい活動等々、年を追って活発になり、現在に至っている。

散策マップは、今回で3回目の改定となる。前回改定時は開発半ばであった玖珂総合公園がほぼ完成し、今秋開催される山口国体のホッケー会場にもなっているので全面的に見直した。また、新規に桜づつみ公園を追加した。

玖珂町には、豊かな自然と貴重な歴史や文化が残されている。これらの財産を玖珂町に住む人々が共有し、憩いの場、健康増進の場、生涯学習の場として利用されることが望まれる。

本小誌が、少しでも、そのためのお役にたてば幸いである。

平成23年9月

玖珂ユウキの会代表 木坂健治

●参考文献

歴史の道「山陽道」(山口県教育委員会)
 史跡と伝説と観光の山口県(山口県新聞社)
 歴史と文化の町「くが」(玖珂町教育委員会)
 玖珂町誌・玖珂町要覧(玖珂町役場)
 防長山野へのいざない(金光康資著)
 広島近郷の山城と史跡(ヒューマン・リクチャー・クラブ)

●距離、標高、歩行時間の測定

- (1) 距離…車道は車のメーター、歩道は万歩計
- (2) 標高…玖珂町全図(5万分の1)
- (3) 歩行時間…実測値(休憩時間含まず)

●イラスト

中国新聞「暮らしの情報誌 8Vol-107」
 カット&イラスト集(CD-ROM)

●助言 岩国市教育委員会事務局

玖珂支所文化財専門員 松岡睦彦

平成23年5月改3 (一部改訂)

平成19年3月改2 (全面改訂)

平成14年5月改1 (一部改訂)

平成13年12月作成、初版発行

男性シニアボランティアグループ

玖珂ユウキの会